

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実績及び効果検証

No	事業名	事業の概要・目的	事業始期	事業終期	実績額（単位：円）		実施状況	効果検証
					総事業費	交付金充当額		
1	一斉臨時休業対策昼食費支援事業	臨時休業による保護者の負担軽減を図るため、経済的理由により就学が困難な児童生徒等に対し、県との協調により昼食費（学校給食費相当額）を給付する。	R2. 4. 1	R2. 8. 20	369,785	182,000	小学校 準要保護児童数42名 特別支援教育児童数1名 中学校 準要保護児童数28名	学校臨時休業期間中の昼食補助として、当該期間中の給食相当額を補助し、保護者の負担軽減につながった。
2	事業中止							
3	事業中止							
4	伊方町商工業振興事業補助金（がんばれ伊方町商工業者応援金）	売上減少等の影響を受けた事業者に対し事業活動を支援を行う。	R2. 5. 11	R3. 2. 5	4,016,000	4,016,000	12事業者	中小企業者等の事業継続支援につながった。
5	休業要請協力金	町が休業要請を行った指定管理施設に対し協力金を支給する。	R2. 5. 11	R2. 6. 30	1,500,000	1,500,000	3指定管理者	指定管理者の事業継続支援につながった。
6	水道事業会計補助金	町民生活を支援するため、水道料金の基本料金分の減免を行う。	R2. 6. 23	R3. 3. 19	30,313,140	30,300,000	7月分 5,304件 8月分 5,292件 9月分 5,309件 10月分 5,293件	固定経費である基本料金の減免を実施することで、コロナ禍の長期化により影響を受けた町民生活の支援に、一定の効果があった。
7	事業中止							
8	Web会議用設備整備事業	従来の会議をWeb会議の形で実施することにより、会議室等で密になる状況を回避すると共に、遠隔地から業務が可能になるためコロナ禍においても業務を滞らせることなく遂行する。	R2. 8. 12	R3. 3. 12	854,700	854,000	WEB会議用マイクスピーカー・カメラ等の整備	全庁的なWeb会議の推進につながり、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
9	避難所用品購入事業	感染症予防のための用品を購入し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。	R2. 8. 12	R3. 3. 19	13,283,600	13,283,000	パーティション・簡易ベッド等の整備	避難所に必要な用品整備により、災害時の安心・安全及び感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
10	新生児臨時定額給付金	特別定額給付金受給権者となる基準日以降（4月28日～）に出生された者の属する世帯の世帯主に対して、5万円/1人を給付する。	R2. 8. 12	R3. 3. 5	1,150,000	1,150,000	23件	基準日以降の新生児に給付金を給付することでコロナ禍での生活の安定につながった。
11	斎場機器購入事業	斎場利用（火葬から収骨の間及び葬儀の間）の際、ウイルス感染対策のためのオゾン発生器の整備を行う。	R2. 8. 12	R3. 1. 12	706,025	706,000	オゾン発生器 4台	オゾン発生器を導入することで室内のウイルスを抑制し、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
12	遠隔健康相談事業	オンライン（スマホのLINE等）を活用し、対象者がいつでも気軽に専門医（産婦人科・小児科）等に相談できる遠隔健康相談事業を通し、健康づくりや子育てを支援する。	R2. 8. 12	R3. 3. 25	572,000	570,000	LINEによる24時間の直接相談体制整備	新型コロナウイルス感染拡大リスクを恐れ医療機関での受信等を控える保護者に、24時間体制での相談体制を整えることができた。
13	保健センター アルコール消毒液等購入	新型コロナウイルス感染症予防にかかる消毒液等の整備。	R2. 8. 12	R3. 3. 31	1,709,053	1,700,000	対象施設：保健センター	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。
14	集会所備品整備事業	町内各集会所に非接触型体温計を配備し、集会時などに検温を行い、感染症拡大を防ぐ。	R2. 8. 12	R2. 10. 23	580,800	580,000	対象施設：町内集会所	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。

No	事業名	事業の概要・目的	事業始期	事業終期	実績額（単位：円）		実施状況	効果検証
					総事業費	交付金充当額		
15	地域環境対策車両購入事業	新型コロナウイルスの影響により農業関係者の労働力が不足し、園地の維持管理以外に手が回らず道路の土砂撤去、除草作業等の維持管理が行き届いていない状況である。専用車両を整備し町の環境作業員による維持管理の補助作業を実施することにより、地域経済の活性化に貢献する。	R2. 8. 12	R3. 11. 19	14, 144, 900	14, 140, 000	ホイルローダー 1台 ダンプトラック 2台	コロナ禍による労働力不足から行き届かなくなった町道、農道等の管理に貢献し、地域環境の保全につながった。
16	農業収入保険支援事業	伊方町では農家の98%が柑橘農家であり、10月から翌年3月にかけて収穫期を迎えるが、新型コロナウイルスの影響により販売量、販売価格の減少が懸念されており、農業経営への影響が心配されている。このような農業者の経営努力では避けられない事態から、経営を守るためのセーフティネットである農業収入保険の掛け金の一部を補助することにより、収入保険の加入を促進し経営の安定を図る。	R2. 8. 12	R3. 3. 5	3, 428, 000	3, 428, 000	農家 112戸	農業所得の安定化により事業継続につながった
17	シトラス講座支援事業	新規就農者に対する現地研修について、3密対策として地元メディアによる放映により実施する。	R2. 8. 12	R3. 2. 20	100, 560	100, 000	農業技術のメディア放映	新型コロナウイルス感染拡大リスクを回避しつつ、農業技術の継承につながった。
18	創業・起業支援事業	新型コロナ感染症拡大の影響により事業所の改修を余儀なくされた事業者や、新たに事業を立ち上げた事業者に対し事業費の一部を補助することで産業の活性化を図る。	R2. 8. 12	R3. 3. 31	4, 000, 000	4, 000, 000	2事業者	町内での創業・起業を促進し、町の産業の活性化につながった。
19	旅行商品造成事業者補助金	急激に落ち込んだ観光需要の喚起を図るため、本町を目的地または立ち寄りを必須とした旅行商品を造成し販売、実施するものに対して造成費用を助成することにより観光入込客数の増加を見込める。	R2. 8. 12	R3. 3. 25	2, 884, 003	2, 880, 000	23開催 参加人数 531人	本町を目的地又は経由するパッケージツアー実施により観光需要の活性化につながった。
20	体験プログラム補助金	急激に落ち込んだ観光需要の喚起を図るため、町内で実施する体験プログラム利用料を1/2助成することにより観光入込客数の増加をみこめるとともに、観光振興への機運醸成を図れる。	R2. 8. 12	R3. 3. 25	501, 212	500, 000	参加人数 541人	観光入込客数の増加、機運醸成につながった
21	学校保健特別対策事業費補助金	各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。	R2. 8. 12	R3. 3. 31	6, 636, 022	3, 318, 000	町内小・中学校 感染対策備品、消耗品整備	小・中学校の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減する対策が図れた。

No	事業名	事業の概要・目的	事業始期	事業終期	実績額（単位：円）		実施状況	効果検証
					総事業費	交付金充当額		
22	情報機器フィルタリングソフト導入	家庭学習用に持ち帰りをを行う際、学校外でインターネットを利用しても有害サイトに入れない環境を整備しておくことで、児童生徒の健全で安全な利用を目的とする。	R2. 8. 12	R2. 11. 20	2, 721, 840	2, 720, 000	タブレット充電器、無線ルーターの整備及び情報機器フィルタリングソフトの導入	情報機器フィルタリングソフト導入により家庭学習環境が整えられ、新しい生活様式の実践ができた。
23	情報機器アプリインストール業務	家庭での遠隔授業実現のため、zoomをインストールする。	R2. 6. 23	R2. 12. 4	220, 000	220, 000	zoomインストール	情報機器アプリインストールにより家庭学習環境が整えられ、新しい生活様式の実践ができた。
24	イベント備品整備事業	イベント開催時における感染防止対策を図るため、感染可能性を疑う目安として体温を測定する非接触型の体温計、サーマルカメラ及び飛沫対策としてのパーティションを整備する。	R2. 8. 12	R2. 10. 23	546, 040	545, 000	イベント開催用感染対策備品の整備	イベント開催時に必要な備品整備により、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
25	電子図書館・図書消毒器導入事業	緊急事態宣言発令時の外出自粛等で図書館の臨時閉館や外出自粛を余儀なくされた場合に、人と人の接触や外出をすることなく図書の利用を可能にすることと合わせて、衛生的な本の貸し出しのため、図書消毒器を整備する。	R2. 8. 12	R3. 3. 25	4, 257, 000	4, 256, 000	電子図書の導入 図書消毒器の整備	図書の非接触化を実現したことで新しい生活様式の実践ができたとともに、図書の衛生管理により新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
26	オンライン授業の実現に向けた事業	学校内の全児童・生徒にタブレット端末を配備しており、端末を活用して双方向でのオンライン授業等の実現に向けて取り組む。	R2. 6. 23	R3. 3. 19	980, 576	980, 000	対象施設：集会所 4施設 公民館 2施設 学童クラブ 3施設 インターネット引込	学校外施設でのオンライン授業が可能となり、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
27	事業廃止							
28	八幡浜地区施設事務組合消防本部新型コロナウイルス感染症対策事業負担金	救急隊員等、消防職員間の新型コロナウイルス感染症等のまん延防止策として、本署・分署の仮眠室を個室化し衛生面の強化を図る。	R2. 9. 8	R3. 5. 25	4, 752, 000	4, 750, 000	八幡浜地区施設事務組合負担金 消防署本署・分署仮眠室改修	消防署本署・分署の仮眠室個室化に対し負担することで、署員の新型コロナウイルスの感染リスクを低減する対策及び消防体制の安定化が図れた。
29	防災用TV会議システム移設事業	6階放送室の狭い空間にある愛媛県とのTV会議システムを5階災害対策室移設し、3密を回避することで感染防止を徹底する。	R2. 9. 8	R3. 3. 31	734, 800	734, 000	防災機材の移設	防災体制時の3密を回避することができ、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
30	保育所・学童クラブ機器整備事業	乳幼児、児童が毎日利用する保育所や学童クラブ内でのウイルス感染を防止するため脱臭器の整備を行う。	R2. 9. 8	R3. 1. 12	4, 412, 661	4, 412, 000	対象施設：保育所 6施設 学童クラブ 5施設 オゾン発生器 25台	オゾン発生器を導入することで室内のウイルスを抑制し、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する対策が図れた。
31	介護施設感染防止対策支援事業	介護施設で面会制限がかかった際においても、家族等とオンライン面会をおこなうことで、家族の交流を図ることができるほか、医療関係者とのオンライン診療等にも活用することができる。	R2. 9. 8	R3. 3. 19	2, 322, 100	2, 322, 000	対象施設：介護施設 3施設 オンライン環境機器整備補助	オンライン面会環境整えられ、新しい生活様式の実践ができた。
32	介護施設自動検温システム導入支援事業	介護施設等において、赤外線等により体温を計測できる「自動検温システム」を導入することにより、介護従事者の負担軽減を図ることができる。	R2. 9. 8	R3. 3. 19	1, 048, 300	1, 048, 000	対象施設：介護施設 5施設 自動検温器整備補助	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。

No	事業名	事業の概要・目的	事業始期	事業終期	実績額（単位：円）		実施状況	効果検証
					総事業費	交付金充当額		
33	デイサービスセンター等自動検温システム導入事業	町所有の介護施設等において、赤外線等により体温を計測できる「自動検温システム」を導入することにより、介護従事者の負担軽減を図ることができる。	R2. 9. 8	R3. 3. 19	1, 199, 000	1, 199, 000	対象施設：介護施設等 5施設	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。
34	事業廃止							
35	アルバイト確保等緊急支援事業	柑橘農家、共選の繁忙期の労働力については、県外等の外部労働力によって補っている。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のために係る費用の一部を補助することで、農家、アルバイトが安心して作業に取り組める。	R2. 9. 8	R3. 3. 31	3, 502, 424	3, 502, 000	感染症対策消耗品、施設内飛沫感染対策、アルバイト雇用支援に係る経費補助 JAにしようわ	新型コロナウイルス感染拡大リスク対策を図り、柑橘農家の安定的なアルバイト確保につながった。
36	ふるさと応援シーフードお届け事業	新鮮な水産物を県外者・ふるさと会（負担金納入者）へ発送することで消費を刺激し低迷した漁業経営の底上げと販路の新規開拓が図られる。	R2. 9. 8	R3. 2. 19	3, 336, 786	3, 336, 000	水産物消費拡大補助 八幡浜漁協 三崎漁協	新型コロナウイルス感染拡大により低迷した水産物の消費拡大と漁業経営の底上げに寄与した。
37	瀬戸アグリトピアWi-Fi機器購入事業	特定の建物に限定していたWi-Fi環境を施設全体に拡大することで利用者の3密を回避するとともに、収束後の利用者拡大に向けて、利便性やサービスの向上を図る。	R2. 9. 8	R3. 3. 31	3, 899, 500	3, 890, 000	指定管理 1施設 無線通信環境整備	無線通信環境整備により新型コロナウイルス感染拡大リスクの低減及び終息後の利用者の利便性向上が図れた。
38	プレミアム付地域商品券事業	新型コロナウイルス感染症により、急激に落ち込んだ町内事業所における売上額や観光需要の喚起を図るため、本町内のみで使用できる商品券を販売することにより町内事業者の売上や観光入込客数の増加をみこめる。	R2. 9. 8	R3. 3. 31	71, 274, 995	71, 200, 000	商品券販売額 139, 950, 000円 商品券換金額 139, 409, 500円 換金率 99. 61%	町内商品券利用可能店で139, 409, 500円分（上乘せ分69, 704, 750円）の消費促進につながった。
39	ブルーイルミネーション点灯事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響により不安とリスクに向き合いながら医療現場で奮闘する医療従事者や地域の生活基盤を支える仕事をされている方に対し心から感謝とエールを送るため、観光交流拠点施設にブルーイルミネーションを点灯する。実施により労働者への感謝の心と勤労意欲の醸成を図れることはもとより、集客施設のライトアップにより施設ひいては本町の観光入込客数の拡大を図れる。	R2. 9. 8	R3. 2. 26	990, 000	990, 000	ブルーイルミネーション設置	新型コロナウイルス感染拡大の中、最前線で奮闘する医療従事者への感謝、応援のメッセージ及びコロナ禍を乗り越える明るい町を表現し、町民に活力を与えることができた。
40	集会所施設等施設整備費補助金	町内各集会所にテレビ及びネットが受信・利用できる設備を整備する事により、各家庭における情報通信環境を補い、「新しい生活様式」を实践する環境を整える事により、地域コミュニティの活性化を図る。	R2. 9. 8	R3. 3. 25	2, 763, 795	2, 700, 000	対象施設：町内集会所等 31施設	集会所施設等へのケーブルテレビ、無線通信環境の整備により新しい生活様式の实践ができた。

No	事業名	事業の概要・目的	事業始期	事業終期	実績額（単位：円）		実施状況	効果検証
					総事業費	交付金充当額		
41	学校備品整備事業	学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童・生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、学校教育活動の再開を支援する経費に充てる。	R2. 9. 8	R3. 3. 19	1, 812, 800	1, 810, 000	町内小中学校 ウォータークーラー、製氷機整備	学校教育活動の再開にあたり環境整備が図れた。
42	修学旅行キャンセル料支援事業	学校の一斉臨時休業期間中に予定していた修学旅行を、中止したり延期したりすることにより発生したキャンセル料等について、保護者の経済的な負担軽減を図るため、本来保護者が負担することとなる経費を学校設置者が負担した場合、その経費を補助するものである。	R2. 9. 8	R2. 10. 20	157, 020	157, 000	伊方中学校 瀬戸中学校 三崎中学校	新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行がキャンセルとなり、キャンセル料の補助を行うことで保護者への負担軽減を図ることができた。
43	社会教育施設情報通信環境整備事業	社会教育施設にテレビ及びネットが受信・利用できる設備を整備する事により、各家庭における情報通信環境を補い「新しい生活様式」を実践する環境を整える事により、地域コミュニティーの活性化を図る。	R2. 9. 8	R3. 3. 31	206, 580	200, 000	対象施設：社会教育施設 3施設	社会教育施設等へのケーブルテレビ、無線通信環境の整備により新しい生活様式の実践ができた。
44	インフルエンザ予防接種事業	インフルエンザが流行すると新型コロナウイルス感染症患者とインフルエンザ患者が混同し、発熱やせきなど症状が酷似しているため、区別がつかず、医療機関が混乱をきたす恐れがあることから、インフルエンザの流行を防ぐとともに、予防接種費用の負担軽減を図る。	R2. 10. 1	R3. 3. 31	27, 721, 874	27, 720, 000	インフルエンザ予防接種助成	インフルエンザと新型コロナウイルスとの同時流行による医療機関の混乱を防ぐことと併せて接種者の負担軽減が図れた。
45	伊方町共済支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により漁業経営に影響を受けている事業者に対し、養殖共済及び漁獲共済の掛金補助を行う。	R3. 3. 9	R3. 3. 25	5, 703, 000	5, 700, 000	4事業者	新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた漁業事業者の共済掛金補助を行うことで安定的な事業継続につながった。
46	観光設備品整備事業	観光施設等において、赤外線等により体温を計測できる「自動検温システム」を導入することにより、来場者の安全確保、事業者の負担軽減を図る。	R2. 11. 24	R3. 1. 12	386, 760	380, 000	対象施設：観光施設 4施設	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。
47	公共施設抗菌加工処理業務委託事業	町内公共施設に抗ウイルス抗菌加工を施すことにより、公共施設での感染拡大を防ぎ、町民が安心して活用できるよう環境整備を行う。	R3. 2. 19	R3. 3. 31	62, 468, 054	60, 682, 000	対象施設：庁舎等 68施設	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。
48	伊方庁舎非接触式セルフ検温器購入事業	伊方庁舎、各支所において、赤外線等により体温を計測できる「非接触式セルフ検温器」を導入することにより、庁舎内における感染拡大を防ぐ。	R2. 12. 22	R3. 3. 26	276, 650	276, 000	対象施設：庁舎（本庁、2支所）	施設利用者の新型コロナウイルス感染拡大リスクを低減することができた。